

# 丸山湿原群保全の会会報

(第 208 号)

発行日：2024 年 (R6) 11 月 20 日 編集／発行：丸山湿原群保全の会  
〒669-1211 宝塚市大原野字炭屋 1-1 西谷地区まちづくり協議会事務局内

TEL/Fax0797-91-1788

090 - 1895 - 8061 (今住)

E-mail:[maruyamashitugengun@gmail.com](mailto:maruyamashitugengun@gmail.com)



## 戦争は最大の環境破壊と、差別を生み出します！

なかなか季節が進みません。9月の初めに刈り取った稲は「ひこばえ」が立派に穂をつけているように見えます。稲は本来、多年生植物。「令和の米騒動」のさなか、「もう一度稲刈りは？」という声も聞こえてきました。実際「ひこばえ収穫」も研究もされているそうです。さらに来年もそのままの株で収穫できる品種？技術？も実現するかも、という噂です。「ひこばえ」については農機具類の清掃が終わってから「もう一度」とはなかなかいかないのが現実ですよ。

何やら米の高騰が続いているようですが、いったいどうなるのでしょうか？何が本当で何が嘘やら…ブローカーのたくらみも見えてきそうです。実際 JA より先に高値で買い取っていくそうですから。物価上昇の昨今、米だけが「優等生」だった時代は終わるのか？生産者への健全な利益還元を期待します。農家は激減中！さあどうなる日本の食糧事情…

これは環境問題にも大きく影響を及ぼす問題です。企業による農業経営の時代が来ているのかもしれない。企業にはこれから TNFD (自然関連財務情報開示タスクフォース) とやらが必要になってくるようです。企業による農業の方が地球のためになるかも…わけのわからない話題で申し訳ない。トランプさんもややこしいし。

(今住 11 月 19 日作成)

## 小学校環境学習 ★10月18日(金) 西谷小学校3年生4年生

いつものいつものです。4年生は2度目の秋フィールド。3年生は初めての秋。バスを下りると



銀杏の実はウオコの香り

と何やらウオコの香り。この時期になると必ずギンナン(銀杏)の実を踏んでしまいます。「食べる」ことが多い秋フィールドですが、ギンナンは実も種も生では毒になります。この匂いで食べる子もいないけどね。気を取り直し、ヤマノイモ(自然薯=じねんじょ)のムカゴを少々。「ほんとに生で食べられるの？」と半信半疑。昨年も食べた4年生は普通に口に。(だったと思う)先に見本は見せますが…「うまい！」。いつも生で食べてはいるものの、本当に大丈夫なのかと調べてみると…「えっ？」大丈夫でした。ジャガイモなどの生はデンプンでお腹を壊すそうですが、このムカゴにはアミラーゼ(ジアスターゼ)というデンプンの分解酵素が多く含まれていてとってもからだにいいそうです。良かった。サラダにトッピングもOK！西谷なら家の近くの林縁にきっとある。ぜひ自分で探し食べてみてね！あくまでも自己責任で…

雨が本当に少なかった今年。珍しく雨の後のますますの天気。湿原へ向かうまでの道も湿っていて、川にいるはずのサワガニ(沢蟹)が道ま



ヤマノイモのムカゴ 生でどうぞ



で上がってきています。それを素早くゲット！目がいいね～～。と思  
っていたら、先生もイモリ（井守）をゲット！なかなか鋭い観察眼。  
数年前の環境学習でも道で見つけた記憶がありますが、本来水の中に



棲むイモリ。水の中で孵化し、えら呼吸での生  
活を終えればしばらく（幼体の間）は陸上（山  
の中）で生活するようです。お腹の赤色はその  
ままに、尾っぽにも赤い筋が入ることが多と  
か。「毒持ってますよ～！」なんででしょうか？両生類唯一「テトロドキシ  
ン＝フグ毒」を持っているそう。しかし毒性はわずか。触ったぐらいではな

アカハライモリ 尻尾赤い？ んとありません。その手で目などの粘膜を触ると炎症を起こすことがあ  
るそうです。私は一度も経験なしですが…デリケートな方はご用  
心。「惚れ薬」としても有名ですが、本当に黒焼きにして食べたかど  
うかは疑問。

やはり川は外せずカニ集め。いつものことなので自由度がどんど  
ん上がっています。ま～4年生が去年の経験をもとに3年生を引  
張っていった感じで「楽」をさせていただきました。途中、歩道



どこから降りて来たんやろ？

の陥没を見つけて「なぜ？」という  
疑問も。「前日のかなりの雨で水  
が…」「ふむふむ」と納得したか？

「気まま」な行動はコースまで。ゲリラ的  
な別班行動が…「丸山」登山。「この道行っ  
てみよ！」「悪ガキ」いや探求心の強い児童  
がグループで山を上がって行きます。「行っ  
といで、行っといで…」と気楽に言ったも  
のの本当に行くとは…ちゃんと別のスタッ  
フが見守っていました。

「丸山」山頂はロケーション悪く、特に面  
白くも無い。ただ「ズリ」の登山があり、そ  
こは面白い。その後第3 湿原西側の道なき道を通って第1 湿原  
歩道で合流。ウメバチソウ（梅鉢草）がたくさん咲いていました  
が「ふ～～ん」で終了。まっ、植物好きは高齢者が多いわな…残  
り少ないスイラン（水蘭）を見て周遊コースへ。鉄塔付近では枯  
れた木を「バズーカ砲」のようにして「絶対学校へ持って帰る」



バズーカ砲 学校までは持ち帰った！

と。お好きに。第2 湿原から極秘  
展望ズリに向かう途中でタヌキ  
（狸）の頭蓋骨を発見。今日の給食  
がラーメンらしく「タヌキの頭蓋  
骨スープにしてみらえ！」と提案  
も却下…と言うより相手にして  
もらえませんでした。しょんぼり。



タヌキの頭蓋骨 スープには…

複式学級になって2年連続で来ることで、随分「里山」に慣れてき  
ているのが実感される活動となってきました。さて次は冬。作業手伝ってもらいます。チューター



サワガニを素早く見つけ！



なんで道に穴が開いてんねんやろ？



ウメバチソウいっぱいやのに…



ズリ遊びは普遍やね



(指導者)が多いから安心して楽勝やな!

**ご案内(ガイド)** ★10月19日(土)ユニソル 21日(月)三田市皿池湿原守り人

なぜか見学ガイドが立て続けに。19日はユニソル(フルサト・マルカホールディングス株式会社)さん。「宝塚西谷の森公園」で「企業の森づくり=ユニソルの森」に取り組んでおられます。「企業の森?」と思いますが、「森公園」を乗っ取り?するわけではなく一部を借りて里山整備活動をするらしい。月1回活動。この日は午前には湿原研修ということで丸山湿原へ。雨が降り出しそう。「靴は多分スニーカーで大丈夫」と言ってしまいました。が、その後かなりの雨。ずぶ濡れ、靴はグチョグチョ。気の毒なことになりました。

人数も20人オーバー。果たして私の「バカ話」が聞こえていたかどうかは不明。(一応マイクはあった)里山管理技術の指導には東京からお越しとか。大変熱心な方々でした。里山再生をしっかり学んでください。できれば持続可能な形で。



記念写真を被写体側から

21日は三田市の「皿池湿原守り人」さんご一行。実は「丸山湿原保全の会」は2016年7月に天然記念物指定前の「皿池湿原」にお邪魔しております。。三田市職員の方と兵庫環境創造協会の方が案内してくださいました。兵庫県天然記念物指定は2019年ですから、「守り人」(保全団体)さんもまだ誕生していないときでしょうか?その時の印象は以前に会報(107号)にも書きましたが、沈まない湿原(高位河岸段丘礫層)とため池セットで「リゾートみたい」と言ったような。その後も「丸山でホンゴウソウ探せ」の参考に実物を見せていただいたりとお世話になっています。



写真が無かった...ごめんね

そこで活動する「守り人」さんが、泥で沈み込む湿原(有馬層群)の見学です。人数は少なかったのですが、熱心にお話を聞いていただきました。同行の市の担当者も非常に前向きで、楽しんで仕事をされているようでした。創造協会の方の1名(2名中)は「丸山湿原群保全の会」立上げの時からのお付き合いのある方。少々感慨深いものがありました。

その後、近くのOECM登録地の見学。皿池周辺の天然記念物以外の土地の申請検討に向けての参考にされるとか。30by30に向けてぜひ頑張ってくださいと思います。

**定期活動・協働** ★10月27日(日)「北摂里山愛す会」との協働

定期活動日に「北摂里山愛す会」さんが協働作業に来てくださいました。ターゲットは第1湿原歩道から湿原へのバッファゾーン。かなり放置している期間が長く、見通しが悪くなっていました。今年度の重点項目ですが、できていないのが実情。そこへ助っ人。ただ申し訳ない。私、所用があり不参加。他の会員も欠席が多く参加人数は寂しい。会員6名、愛す会3名。計9名での活動に。



湿原が見通せるように...



黙々と柴の裁きを

しか〜し、報告によると、休憩時間も気にせずひたすらソヨゴ(戦)とヒサカキ(栴)の除伐に夢中になっていたとか。おかげで、かなり進んだような?手作業の活動、本当にご苦労様でした。またよろしく願いいたします。



**兵庫フィールドパピリオンツアー** ★10月30日(水) 大阪・関西万博連携企画?

里山×環境×人×学ぶ×ツアー秋編

「日本一の里山・北摂里山フィールドパピリオン」として県に認定されているツアーです。同行は「日本一の里山」の立役者、服部保先生（兵庫県立大学名誉教授）。「北摂里山大学」の学長でもあります。行程は「丸山湿原群（宝塚）」→「仲しい茸園（猪名川）」→「菊炭の里（川西）」の流れ。「宝塚西谷の森公園」で服部先生から「里山」のレクチャーを受けた後、丸山湿原へ。ガイドは2名で担当。総勢は20名あまり。2班に分かれて約1時間の案内です。時間が短いので一目散に湿原へ！と思いながらいつも途中が長くなってしまいます。いらぬ話ばかりをしてしまったような。もう一つの班はしっかりと楽しくやられたと思います。頑張ろっと。

「大阪万博」のイベントらしいですが…万博本番の来年はあるのでしょうか。インバウンドに備えなくては。自動翻訳機用意しないと…ほんまにある？

**受賞** ★11月3日(土)「ひょうご森づくり活動賞」受賞!

西谷中学校をメイン会場に「ひょうご里山フェスタ 2024」が開かれました。前日の大雨で準備が大変だったことと思います。プレ行事やアフター行事まで企画され、担当の方の熱意を感じました。小学校の丸山湿原環境学習、里山整備学習（やまもり山里）にも参加していただきました。フェスタで「丸山湿原群保全の会を表彰します」とご連絡も。「ひょうご森づくり活動賞」だそうで、身に余ると思ったのですがいただくことに。授賞式には清水副代表に出席していただきました。天気も良く気持ちの良い日でした。足元のぬかるみはなんともならなかったようですが…ご苦勞様。



服部洋平副知事より 本来は知事

**定期活動** ★11月9日(土) 8名で活動

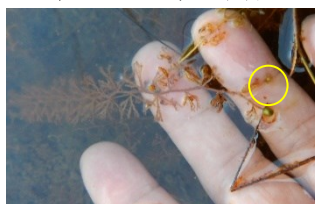
| 目的    | 市内 | 市外 |
|-------|----|----|
| 丸山    | 68 | 53 |
| ハイキング | 55 | 83 |
| 散歩・登山 | 8  | 7  |

来場者数計 274 人  
(竹筒ポスト集計)

| 場所   | 時間    | 気温【水温】  | 電気伝導 (EC)  | PH  |
|------|-------|---------|------------|-----|
| 入口   | 10:07 | 13.5℃   |            |     |
| 第3湿原 | 10:28 | 【12.5℃】 | 27.0 μS/cm | 6.2 |
| 視点場  | 10:42 | 19.1℃   | 27.0 μS/cm | 5.2 |
| 第1湿原 | 10:59 | 【11.1℃】 | 25.3 μS/cm | 6.3 |
| 第2湿原 | 11:30 | 【9.8℃】  | 27.6 μS/cm | 6.3 |



ウメバチソウの花畑



ヒメタヌキモ 殖芽

100mm を超える（今年度最高？）大雨の後。湿原の水は一時的に川のように？流れたものの落ち着いています。水質も雨水そのもの。滲み込みが少なければ今後も水位が低いままになってしまうのでは、と気になります。有馬層群は滲み込みにくく滲みだしにくい地層ではないかと勝手に想像しています。ウメバチソウは終盤を迎えたとはいえ驚くほどの花が咲いています。今回の雨で付近の山が少し色づき始めたか。土囊の水溜りには多くのヒメタヌキモ（姫狸藻）が見られました。先に殖芽を付け、来年の準備をしていました。いよいよ冬の活動の季節に入ります。この日も少々雑木処理いたしました。（柴刈り）12月からは第2土曜も作業となります。よろしくお願ひいたします。



ホソバリンドウ

次回活動日 11月24日(日) 12月14日(土) 22日(日) 納会(森公園農舎) 1月11日(土)